

江東未来会議
第5分科会（行財政運営・協働）
第7回 議事概要

日時：平成20年2月15日（金）19:00～21:00

場所：江東区文化センター2階 PRコーナー

参加人数：12人

1. 開会

2. 事務局からの連絡事項

○事務局

- ・事前配布した提言書合冊版の中で、当分科会全体の将来像（P76）の文章が一部作成途中のまま掲載されてしまっている。本日配布した資料が事務局としての最終案であるのでこちらを用いて議論していただきたい。
- ・今後のスケジュールであるが、提言書の印刷入稿が2月28日であり、今後の調整時間は限られている。そのため、本日の討議結果を踏まえた提言書最終版の確認については発表会の発表者にのみ確認をとることです承いただきたい。
- ・また、発表会当日に使用するプレゼン資料については、本日素案を示しているが発表者と最終的な調整を行いながら3月13日の発表会を迎えたいと考えている。

3. 本日のワークショップの進め方について

○田中コーディネーター

資料「討議の流れ」を用い説明

- ・当分科会は議論する範囲が他の分科会と比べても非常に広いため、重点テーマでの将来像に加え、当分科会全体の将来像を掲げることにした。
- ・しかしながら、前回の討議でもこの全体の将来像については議論を十分に尽くすことができなかつたと認識している。本日は仮置きの将来像を示しているので、この将来像と各重点テーマの将来像について集中した議論を進めたい。
- ・また、時間が余れば、施策・事業案のパートについても掲載順をより重要なものから揃えていくなど、少しでも手を入れられればよりよい提言書になっていくと思う。
- ・当分科会はかなり熟度も高まってきているので最終回は、私はアドバイス役にまわり、是非、みなさんの中から進行役を選出し、最終提言書を取りまとめていただければと思う。（参加者による自主的な進行を実施）

4. ワークショップ

(1) 全体将来像についての討議

○参加者とりまとめ役

- ・まず、提言書合冊版の76～77ページにある全体将来像および重点テーマの将来像について最終的な討議、確認をおこないたい。

【各将来像について参加者双方向の検討を実施。主な検討結果は以下の通り】

★全体の将来像について

- ・将来像のタイトル自体は、他の分科会の将来像と並べてみても「一人ひとりが主役の江東区」でよいと思う。
- ・ただし、主役だけでは物事は進まないし、みんなに主役を強制していくのではなく、「主役」の意味が例えばオーケストラのように、一人ひとりがそれぞれの立場に応じた役割をきちんと果たしていく、演じていくことが大事という意味で伝えられるとよいと思う。発表者はこの部分を補完して当日の説明をしてほしい。
- ・主役を強制していくのではないという意味からも、「責任と義務」という表現は避け、心意気だけでも持って行こうという明るく積極的な意味で表現したほうがよいと思う。
- ・「健全でより質の高い行財政運営」という表現については、江東区の財政運営が他区と比較すると健全である一方、品川区や杉並区などと比べると、積極的な施策が少ないような印象があるので「健全」ではなく「積極的」というニュアンスが含まれるとよいのではないか。また、「行財政運営」だけではないので「協働・参画」も加えた方がよい。

(1) の将来像について

- ・現状の案ではメインタイトルが長い感がある。説明はサブタイトルにまわし、「元気でわかりやすい行政」のみという短い表現にした方が、他の2つの将来像とも表現方法が揃うのでよいのではないか。

(2) の将来像

- ・「最善をつくす江東区」では誰がどんな最善を尽くすのかがわからない。他の2つと同じように頭に何か説明がついた方がよいと思う。
- ・そうであれば「三者一体により」という主語を加え、サブタイトルからその表現を削除すればよいのではないか。
- ・表題に「三者一体」という表現がくると重い感じがするのでサブタイトルにまわし、他の2つの将来像と揃えた方が訴求力があるのではないか。
- ・簡潔に示した方がよいという意見が多いので、ここは「最善を尽くす江東区」のみをメインタイトルとする。

(3) の将来像

- ・文章に、みんなで作る希望のトライアングル（参画社会）というようなキャッチフレ

ーズをいれられるとよかった。

○参加者とりまとめ役

- ・本日の会議で詰め切れなかったところや、他の箇所と同様の修正が必要なところについては、事務局が提言書最終版を作成する中で確認し、きちんと整理しておいていただきたい。

【将来像以外の箇所について参加者から意見を出し合った。意見の内容は以下の通り】

★提言書全体としての表現方法について

- ・現在の提言書の構成は「現状と課題」、「将来像」、「施策」となっているが、初めて見る人にはわかりにくい感がある。見てすぐにわかるようなマーク、イラストなどがあるとよりよい提言書になるのではないか。

→事務局：提言書全体で体裁を揃えることにしており、その点については他の分科会でも提案し、了承を得る必要がある。ただし、現段階では時間も限られており、イラストという好みが分かれるものを調整して統一していくのは非常に難しいと思う。

全分科会で承認が得られ、事務局一任でデザインを選定して良いということになれば提案の通り進めたいと思うが、そうならなかった場合には原案のとおりで進めるという形で承った。

- ・施策の提案をしている章のタイトルは「具体的な事業のアイデア」となっているが、「アイデア」という表現では提言として弱い。「具体的施策」「具体的提言」などという表現に改められないか。

→事務局：これについても全分科会で統一した表現方法にすることになっているので現段階では時間も限られており、難しいと思う。体裁・イラストと同様の取り扱いとする。

★当分科会部分での表現方法について

- ・将来像のメインタイトルでは「三者」という表現は用いず、「区・区民・事業者」で統一する。また、文章内でこの三者について触れる場合もこの順で統一する。
- ・将来像のサブタイトルは体言止めで統一する。
- ・江東区のことを指し示す言葉として「行政」と「区」の両方が用いられているが、「行政」の場合、江東区だけでなく東京都や中央省庁なども含むことや、実際に職員の感覚として「区」という表現の方が当事者意識がわくということであるので、江東区のことを指し示す場合には「区」と表現することにしたい。
- ・カタカナ言葉で「ヴィジョン」と「ビジョン」は表記がゆれているので「ビジョン」に統一することにしたい。
- ・「ビジョン・ミッション」が併記されている箇所もあるが、「ミッション」だけに集約す

るとともに「使命・行動指針」という日本語訳を最初には追記する。

★施策案の内容について

- ・行財政評価委員会は、これまでの委員会の上位の委員会として設置したいと考えているが、そういうことは可能か。行財政評価委員会の結果がどこまで予算案に反映されるのか不安がある。
- ・それは難しいと思う。現行法では区議会が最終的な決議を行うので、行財政評価委員会にある程度の権限を持たせることは大事だが、区議会との関係を決めることはできないと思う。
- ・これについて提言書に記載するのは難しいので、あるべき姿については発表会で発表者が心意気をしっかり含んで発表するようにしてほしい。

(2) 発表者の選出

○事務局

- ・これまでの議論を踏まえ、しっかりと聴衆に伝えられるという意味では、討議の大半を占めたグループごとに1名ずつ選出し、それぞれのパートを発表するのがよいのではと感じている。
- ・その中でさらに代表者を選出し、全体将来像の説明と区長への提言書の提出を担当してもらうという形でできればよいと思っているがいかがか。

○参加者

- ・各分科会の持ち時間は15分しかないので3名で発表しようとする、5分ずつになってしまう。5分ずつで説明するのは難しいので1人ですべて説明した方がよいと思う。

○参加者

- ・聴衆側で考えてみると5分ずつくらいでパートが区切れた方が聞きやすいと思うし、これまでの議論を踏まえるとグループごとに選出するのがよいと思う。

○事務局

- ・それでは多数決で発表者の選出方法を決めたい。1人ですべてを発表するのか、各グループから1名ずつ計3名で発表するのがよいのか。

【多数決の結果、9：3で「各グループから1名ずつ計3名で発表する」こととなり、互選により、重点テーマ(1)は石毛氏、(2)は星氏、(3)は永谷氏に決定した。】

- ・全体将来像の発表者については後日、3人の中で決めていただくことにする。

○参加者

- ・発表に際してのアドバイスがあれば、是非お願いしたい。

○事務局

- ・提案等があれば事務局まで連絡をいただきたい。受信内容をそのまま発表者に転送する。ただし、時間の都合で提案どおりに対応できないことを理解しておいて欲しい。以上